

浅川巧生誕120年記念

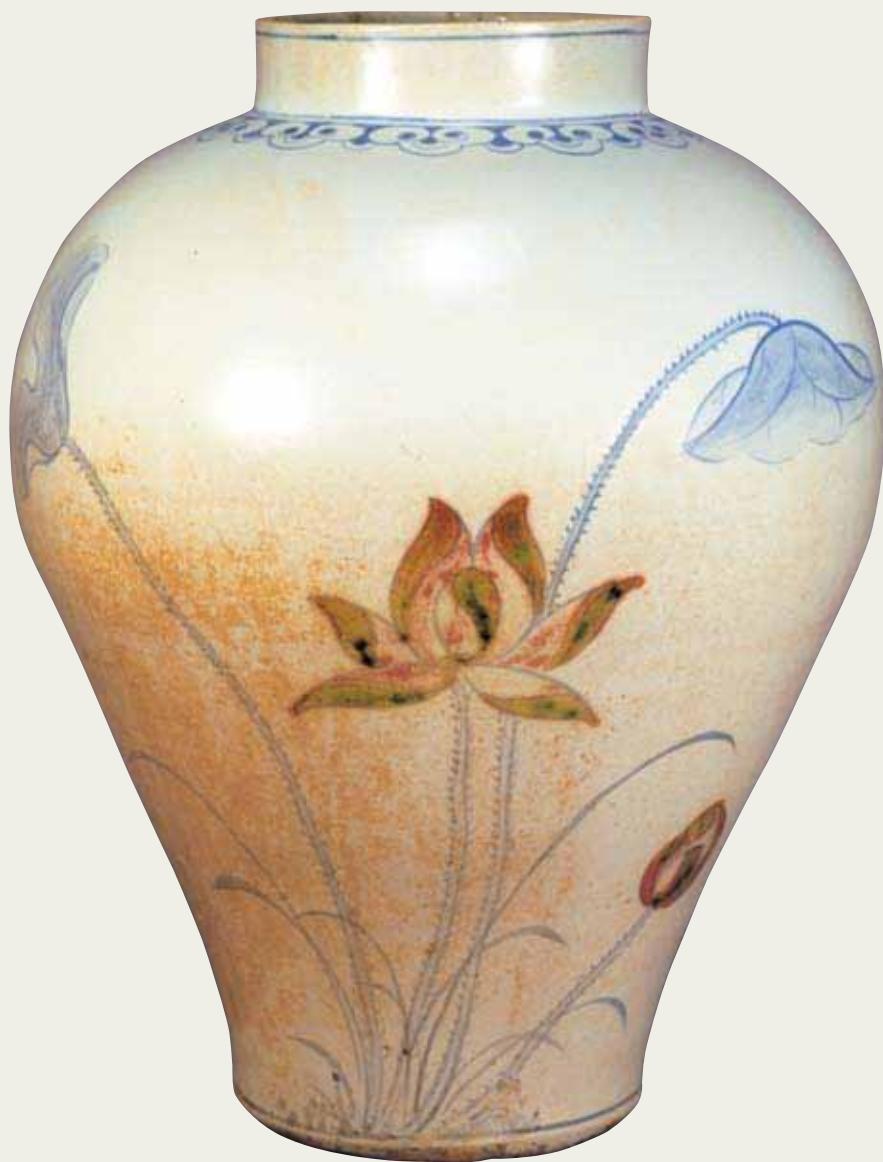
あさかわ

浅川



兄弟の心と眼 —朝鮮時代の美

"In Commemoration of the 120th Anniversary of Asakawa Takumi's Birth
Asakawa Noritaka & Takumi Brothers:
Their Souls and Their Visions"



2011年8月9日(火)~10月2日(日)

開館時間：日・月～木曜日 10時～18時／金・土曜日 10時～20時

* 入場受付は閉館の30分前まで * 開館時間につきましては節電等のため変更となる場合がございます。

休館日：9月5日(月) 観覧料：一般 1,000円(800円) 大学生 700円(560円)

* 小・中学生、高校生、障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料 * ()内は前売、団体20名以上、および市内にお住まいの60歳以上の方の料金

* 前売券は千葉市美術館ミュージアムショップ(7月31日まで)、ローソンチケット(Lコード:39839)、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口(10月2日まで)にて販売

主催：千葉市美術館／読売新聞社／美術館連絡協議会 特別協力：大阪市立東洋陶磁美術館／北杜市
協賛：ライオン／清水建設／大日本印刷／損保ジャパン／日本テレビ放送網 企画協力：E.M.I.ネットワーク

《青花辰砂蓮花文壺》京畿道・広州官窯(分院里窯) 朝鮮時代・18世紀後半 大阪市立東洋陶磁美術館蔵(安宅英一氏寄贈)

千葉市美術館
Chiba City Museum of Art

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8
Tel. 043-221-2311(代) <http://www.ccma-net.jp>



浅川巧生誕120年記念

兄弟の心と眼—朝鮮時代の美

千葉市美術館では、「浅川巧(たくみ)生誕120年記念 浅川伯教(のりたか)・巧(たくみ)兄弟の心と眼—朝鮮時代の美」を開催します。

朝鮮半島の陶磁器や木工品は古来よりわが国に多くの影響を与えてきました。たとえば、桃山時代における茶道や近代の「民藝」運動などとのかかわりは大きく、一般的にも知られています。

山梨県に生まれた浅川伯教(1884-1964)と巧(1891-1931)の兄弟は、植民地時代(1910-45)の初期、朝鮮半島に渡りました。彼らは朝鮮家屋に居をかまえ、現地の人々に溶けこみながら暮らします。やがて伯教は朝鮮陶磁研究の第一人者となり、また弟の巧も、朝鮮の陶磁器および木工品について名著を残しました。彼らの活動で特筆されるべき点は、世界に先駆けて「李朝」—朝鮮時代(1392-1910)の陶磁器に注目し、その美と向かい合ったことです。

1920年代以降、浅川兄弟の活動によって李朝の陶磁器や工芸品は一躍注目を浴びることになります。ふたりは時代を代表する陶芸家、研究者そして数寄者たちのよき協力者、導き手として朝鮮時代の美術を紹介しました。なかでも、彼らが柳宗悦(1889-1961)に影響を与え、そこに河井寛次郎(1890-1966)、濱田庄司(1894-1978)、富本憲吉(1886-1963)たちが加わったことによって、「民藝」運動は具体化しています。

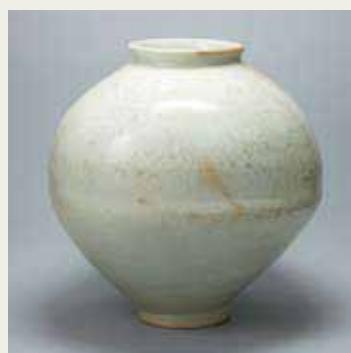
残念なことに巧は若くして世を去り、朝鮮から日本に引き揚げてきた伯教も1949年から千葉市内に居を構えますが、時代の変転のなかで調査や研究の成果を充分にまとめることがなく歿しました。本展は、朝鮮陶磁の傑作として名高い《青花辰砂蓮花文壺》や《青花窓絵草花文面取壺》(共に大阪市立東洋陶磁美術館蔵)など、浅川兄弟と柳宗悦が選び抜いた旧朝鮮民族美術館のコレクションをはじめ、伯教作の絵画資料や陶芸作品、柳自筆の原稿、そして同時代の陶芸家たちの作品など約200点を通して、今日改めて評価の気運が高まる浅川兄弟の事跡を、はじめて体系的に紹介するこころみです。



《青花鉄砂葡萄文壺》 朝鮮時代・18世紀前半 大和文華館蔵



《粉青粉引碗 粉引茶碗 銘「漢芹洞」》
朝鮮時代・16世紀後半
大阪市立東洋陶磁美術館蔵(鈴木正男氏寄贈)



《白磁壺》
京畿道・広州官窯
朝鮮時代・17世紀後半-18世紀前半
大阪市立東洋陶磁美術館蔵(鈴木正男氏寄贈)



《粉青刷毛目碗 鶏龍山茶碗 銘「東鶴寺」》
忠清南道・鶏龍山窯
朝鮮時代・15世紀後半-16世紀前半
大阪市立東洋陶磁美術館蔵(鈴木正男氏寄贈)



浅川伯教《黒釉茄子茶入 銘「千草」》
20世紀前半 個人蔵

関連企画

◆記念講演会

「浅川兄弟と『李朝』のやきもの」

8月27日(土)14:00より(13:30開場) 11階講堂にて
講師：片山まゆ(東京藝術大学美術学部芸術学科准教授)

「近代日本の朝鮮陶磁 一浅川伯教・青山二郎・安宅英一を中心にして」

9月3日(土)14:00より(13:30開場) 11階講堂にて
講師：森孝一(日本陶磁協会事務局長)

* いずれも先着150名 講義無料

◆市民美術講座

「昭和陶芸の古典復興」

8月20日(土) 講師：篆刻英也(当館学芸係長)

「棟方志功と民藝運動」

9月17日(土) 講師：西山純子(当館学芸員)

* いずれも14:00より(13:30開場)、先着150名 講義無料

◆ギャラリートーク

担当学芸員による 8月10日(水)14:00より

9月17日(土)、30日(土)17:00より

ボランティアスタッフによる 会期中の毎週水曜日(8月10日を除く)
14:00より * 他の平日14:00にも行うことがあります。

◆同時開催(所蔵作品展)

「棟方・富本・リーチ—近代日本の版画を中心に」

会期：8月9日(火)～10月2日(日)

* 「浅川兄弟の心と眼—朝鮮時代の美」をご観覧の方は無料

●次回展予告

「生誕250年記念展

酒井抱一と江戸琳派の全貌」

「江戸琳派」様式を確立した酒井抱一(1761-1829)とその門弟らの作品を一堂に会す、待望の大回顧展。

会期：10月10日(月・祝)～11月13日(日)

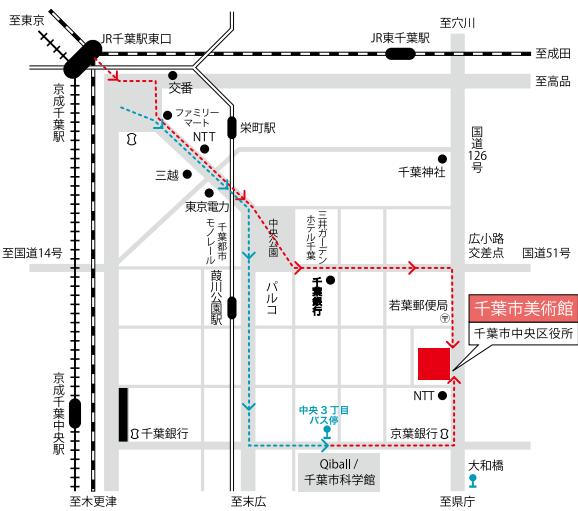
交通案内

◇JR千葉駅東口より

徒歩約15分／バスのりば⑦より大学病院行、または南矢作行にて「中央3丁目」下車徒歩約3分／千葉都市モノレール県庁前方面行「葭川公園駅」下車徒歩約5分

◇京成千葉中央駅東口より徒歩約10分

◇東京方面から車では京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚IC下車国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く
◇千葉市中央区役所と同じ建物です
◇地下に区役所と共有の駐車場がありますが、台数に限りがあるためなるべく公共の交通機関をご利用ください



千葉市美術館

Chiba City Museum of Art

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8

Tel. 043-221-2311(代) http://www.ccma-net.jp

